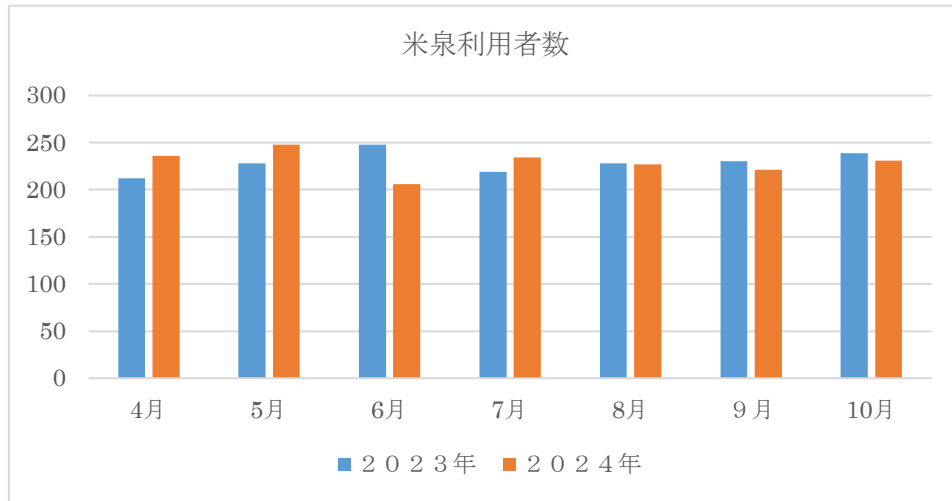


デイサービスセンターゆいま〜る運営推進会議

日時 2024年12月10日15時～16時

出席者 I様ご夫婦(利用者・家族) 平田様(民生委員) 平下様(地域包括支援センターありまつ) 池田・山本(ゆいま〜る)

1. ゆいま〜るからの活動報告



最高齢 98歳 最若年 53歳 平均年齢 82.0歳 平均要介護度 2.7

契約者数 20名 うち若年性認知症と呼ばれる方が3名通われています。

送迎範囲 本多町 高尾南 玉鉾 矢木の範囲

現在利用されている方たちのご利用時間 7時50分から17時すぎ

スタッフ数 9名(正職員 5名 パート4名) 他 休職中1名

管理者1名 生活相談員1名 看介護職員7名 機能訓練指導員1名(管理者兼務)

生活相談員は社会福祉士・介護職員5名は介護福祉士資格保有

他介護支援専門員保有者1名 看護師1名 准看護師1名

看介護職員の勤務年数 10年以上 3名 5～10年 2名 0～3年未満 4名

11月…一日平均利用者数9.0人に対し、一日平均スタッフ数4.8人

10月の主な外出先

吉岡園地 白川郷 福井市内 倶利伽羅不動寺 神明宮 白山比咩神社
内灘総合公園 福光 金沢港クルーズターミナル など

地域活動(2024年4月～2024年11月)

講師派遣 金沢市オレンジパートナー育成研修 大徳地区認知症サポーター養成講座
浅野川地区認知症サポーター養成講座 泉野地区認知症サポーター養成講座
伏見高校認知症サポーター養成講座 錦丘高校認知症サポーター養成講座
スズケン認知症サポーター養成講座 金沢中央郵便局認知症サポーター養成講座
きのした内科クリニック認知症サポーター養成講座 など

7月より認知症伴走型支援事業の委託拠点先となり、金沢市認知症地域支援センター「認知症の相談窓口ちむぐる」を受託・開設

※今後もオレンジカフェやチームオレンジなどの活動にできるだけ協力し、認知症を抱えながら暮らす方たちの暮らしを支える一助となるとともに、講師派遣などにも協力し、地域における認知症の理解や情報の提供を行っていきたいと思います。また地域の方たちにとって身近な認知症の相談窓口としても機能していきます。

事故 ヒヤリハット(2024年4月～2024年11月まで)

転倒・転落 2件 ベルトの固定外れ 1件 かばん・スマホの紛失 2件
調理中の鍋などの接触 2件 服薬忘れ 5件 車の接触事故 2件
玄関脇のトイレ使用後にそのまま玄関から外に出た 1件

いずれも大きなけがなどはなく、市への報告はありませんでした。

苦情は特にありませんでした。

防災対策

BCP(業務継続計画)を作成し、それに基づいた取り組みを行うことで、災害発生時感染が流行した際にも、事業がなるべく継続できるよう取り組んでいます。

なお能登地震の避難者の方にもご利用いただいています。

感染予防

コロナについては3月末から4月中旬にかけて、二つの別のルートからと思われる感染者がスタッフと合わせて6名出ましたが、幸い重症化する方はいませんでした。その後は感染される方は出ていませんが、戸水で9月に10名近くの感染者が出ており、今後も十分に気を付けていきたいと思ひます

またインフルエンザについても全国的に感染者が大幅に増えており、ワクチンを接種したり、感染対策に取り組むことで、感染の流行を防いでいきたいと思ひます

その他

5月より介護記録の電子化を行っています。

感染対策委員会、虐待防止委員会なども月に一度の職員ミーティングの時間を使って開催しています。

介護職員処遇改善加算のⅠを取得し、手当として職員の待遇改善を図っています。

当面の課題

長く利用されている方たちは少しずつ身体機能も低下しており、医療的な知識・技術を今以上に身に付け、その状況に合わせて、生き生きと過ごすことができるかかわりを考えていく必要があります。また若年性認知症と呼ばれる人たちの割合が比較的高いこともあり、年齢層に幅があります。そのためニーズや活動量に差があり、より個別性が高く、柔軟性のあるかかわりが求められています。ただスタッフの半数近くが他事業所での経験はあっても、ゆいま～るでの勤務年数は3年未満です。大きな事故はないものの、事故件数の多さなどからも、通われている方一人一人の力の把握や、注意しなければならないこと、伝える必要のあることの理解がまだ十分とは言えないともいえ、そうした力も高めながら、かかわりの質を上げていきたいと思えます。

参加者より

I様(利用者)：「(ここは)いいよ、いいところ」と笑顔で。

I様妻(家族)：能登の地震の体験を話してくださる。また夫がゆいま～るに通うことになり、自分の時間ができた。能登で同じようにサービスを利用していたが、ゆいま～るはスタッフ一人一人がかけてくれる言葉が違う。「大丈夫と言ってくれるだけで、ほっとした気持ちになれるし、何より、お父さんの良さを見つけてできる力を引き出してくれる。本当にありがとう」と。

平田様：能登の地震もあり、防災対策は重要。ゆいま～るさんは日曜日がお休みなので、難しいが、ご利用者やスタッフも地区の防災訓練に参加出来たらいい。ご家族の話聞いて、スタッフ一人一人が寄り添った言葉がけができるのはすごい。自分も親のことで経験があるが、家族の負担を減らせる役割は大切。いいと思う。

平下様：地震のお話を聞いて良かったです。今後ともよろしく願いいたします。

池田・山本：皆様お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。ゆいま～るが「いいところ」「スタッフ一人一人のかけてくれる言葉やかかわりに安心できる」というお言葉もいただき、うれしく、励みになります。

今後とも皆様のお力添えをいただきながら、お一人お一人と向き合い、お気持ちに寄り添って日々をお過ごしいただけるよう、スタッフ一人一人も自分たちを見つめなおしながらかかわりを深めていきたいと思えます。